

令和 8 年 7 月 2 日 作成

令和 8 年度第 1 回大町町地域公共交通会議 議事録（要旨）

日 時：令和 8 年 6 月 25 日（木） 14：00～14：55

場 所：大町町役場 2 階 中会議室

参加者：九州運輸局佐賀運輸支局	首席運輸企画専門官	千種 智章（代理）
佐賀県交通政策課地域交通システム室	係長	長本 敬幸
一般社団法人佐賀県バス協会	専務理事	草野 武生
有限会社大町観光タクシー	代表取締役	山口 輝二郎
大町町	副町長	川原 恵
大町町	福祉課長	釘本 あゆみ
九州地方整備局佐賀国道事務所	計画課長	中野 将（代理）
佐賀県杵藤土木事務所	管理第二担当係長	小川 美和子
白石警察署	交通課長	井上 信
大町町老友クラブ連合会	顧問	堅固 勲
大町町区長会	会長	大六野 和徳
大町町民生・児童委員協議会	会長	武村 宣子
大町町ひじり学園 P T A	会長	内田 伸也
大町町商工会	副会長	北沢 聡
大町町議会	議員	江口 正勝
大町町議会	議員	山下 淳也
九州運輸局佐賀運輸支局	首席運輸企画専門官	田中 宏毅（欠席）
祐徳自動車株式会社	乗合バス部長	山口 守（欠席）
大町町婦人会	会長	武村 妃呂子（欠席）
大町町	教育委員会事務局長	副島 徳二郎（欠席）
大町町	農林建設課長	古賀 九州男（欠席）

【事務局】

大町町	企画政策課課長	藤瀬 善徳
大町町	企画政策課副課長	大島 与志行
大町町	企画政策課係長	古賀 陽平

【オブザーバ】

西日本総合コンサルタント株式会社	副課長	中尾 和之
西日本総合コンサルタント株式会社	係長	庄司 耕

1 開会（事務局 古賀）

本日は委員 21 名中 16 名出席で会議成立。

2 挨拶（川原会長）

本日は令和 7 年度決算等、議事 2 件を準備していることから忌憚なき意見を願います。

まちバスについては、順調に運行されており、皆様からの意見をもとにより良い運営に努めていきたい。

3 委員紹介

（事務局 古賀）

4 名の新委員就任について資料により説明（参考資料 P1）

4 大町町地域公共交通会議について

（事務局 古賀）

資料により説明（参考資料 P2～3）

5 議事

■議事録署名人 山口委員（大町観光タクシー）

■第 1 号議案（議案資料 P1～3）

(1) 令和 7 年度大町町地域公共交通会議事業報告（案）について

(2) 令和 7 年度大町町地域公共交通会議収支決算（案）について

（事務局 古賀）

資料説明

（監査 山下委員）

監査報告

（川原会長）

説明について、質疑があればよろしくお願いします。

（川原会長）

質疑がなければ承認決議を取りたいと思います。

賛成の方は挙手をお願いします。

⇒全員挙手

（川原会長）

第 1 号議案については承認されました。

■第 2 号議案（議案資料 P4～17）

地域公共交通計画認定申請書（案）の協議・承認について

(事務局 古賀)

資料説明

(川原会長)

説明について、質疑があればよろしくお願いします。

(川原会長)

質疑がなければ承認決議を取りたいと思います。

賛成の方は挙手をお願いします。

⇒賛成多数

(川原会長)

第2号議案については承認されました。

6 報告事項

(1) コミュニティバスの利用状況報告について

(事務局 古賀)

資料説明 (参考資料 P14～19)

(2) 大町町地域公共交通計画 (R9～13 年) について

(事務局 古賀)

条件付き一般競争入札の日時について説明

(川原会長)

先程の報告、その他全体的に意見、質問があればよろしくお願いします。

(江口委員)

追走利用者の詳細は分かるか。高校生がまちバスを利用され、利用者が多いときは追走で対応していると聞いた。

(事務局 古賀)

追走はまちバスに乗車できない人数の時に発生するものであり、まちバス車両に乗車できなかった方がその対象になる。また、高校生もまちバスを利用されている。まちバスは介助なしで乗降できる方であれば利用できる。

(草野委員)

「交通空白」解消に向けた取組方針 (国土交通省「交通空白」解消本部) に記載の方針 (4P (3) 参照) では移動手段の制約による機会損失等について提言されている。これからを担う高校生にも公共交通を積極的に利用してもらいたいと考える。

(山口委員)

参考資料 18 ページ、大町駅の降車人数が高校生の利用者の参考データとなるのではないかと。下校時の鉄道利用者は、大町駅で接続するまちバスを利用し移動手段として活用していると考えられる。

また、まちバスの利用者が多い場合は追走を行い、取りこぼすことなく対応している。

(江口委員)

コープさが生協大町店が閉店し買い物手段の確保等について事務局としての考えはあるか。

(川原会長)

区長会からも同様の意見がある。大六野副会長よりご説明いただきたい。

(大六野副会長)

生協を利用していた方から、他の買い物手段について商工会がどのような考えがあるのかお伺いしたい。また、ルート等の見直しを検討できるのか。

(北沢委員)

まちバスが運行する以前に、商工会が中心となり店舗を運営したものの、収支等を考えた場合、継続しての運営は厳しいものであった。商工会としては、代替手段については今のところ考えていない。

様々な移動手段を検討し、移動手段を確保しながら買い物の機会を確保しなければと考える。

(山口委員)

本日までの6月の利用者を調べてきた。このまま推移すると6月は700人を超えるのではないかと。例年に比べ100人程度多い。生協で買い物をしていただいていた方が利用されているのでは。

また、まちバスが運行して約5年が経ち、車内がコミュニティの場として機能しているように感じる。移動手段以上の付加価値も生まれてきていると感じる。

(川原会長)

事務局はどのような考えか。

(事務局 古賀)

ルートの見直し、フリー降車区間の新たな設定など様々な観点から対策が必要ではと考える。

(川原会長)

早急に答えが出せる状況ではないが、関係機関と協議しながら対策を考えていきたい。

(江口委員)

縁ジョイ会による買い物支援の拡充等で対応できないか。

(釘本委員)

縁ジョイ会は元気な高齢者のボランティアにより構成されており、支援が必要な方の自宅へ迎えに行き、美郷で体操など行った後、トライアルで買い物し、家まで送り届ける仕組み。ボランティアを募るものの応募がない状況でもある。地域の座談会等を通じて地域の支え合いの機運を高めながら、福祉の側面で対応可能な買い物手

段等について考えていきたい。

7 閉会（事務局 古賀）

以上をもって会議を終了する。

以上

議事録確認日：令和 8 年 7 月 9 日

議事録署名人： 山口 輝 = 郎